

シスプラチン+エトポシド療法(シスプラチン・ベプシド)

患者番号： _____ 氏名： _____

対象	小細胞肺癌
薬液注入ルート	末梢点滴静注、 CVライン ポート
開始年月日	年 月 日
1コース期間	3～4週間
体格	身長 cm 体重 kg 体表面積 m ²

	抗がん剤名	投与量	投与開始日程		
			1日目	2日目	3日目
1	シスプラチン	mg (80mg/m ²)	●		
2	ベプシド※	mg (100mg/m ²)	●	●	●

※アルコール含有

ベプシド<肝障害時>

T-Bil 1.5～3.0mg/dl or AST 60～180IU/L	50%減量
T-Bil >3.0mg/dl or AST >180IU/L	投与中止

<腎障害時>

CCr 50ml/min 未満で減量を考慮する

制吐剤 アロキシ注 0.75mg+デキサート注 9.9mg(1日目)

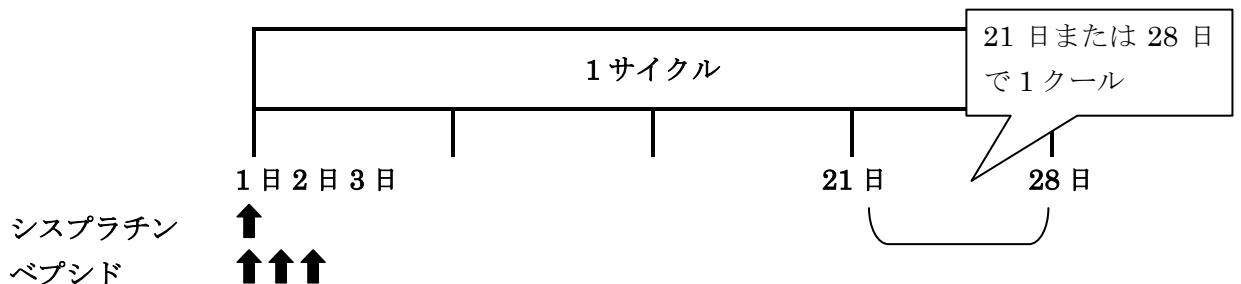
デキサート 6.6mg (2-3日目)

アプレピタント 125mg (1日目) +80mg (2-3日目)

【処方が必要な内服薬】

アプレピタント (125) 1C1× ベプシド開始1時間～1時間半前

アプレピタント (80) 1C1× 朝



□HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介

□HBs 抗原(-) → □HBs 抗体(-)and HBc 抗体(-)

□HBs 抗体(+)-and/or HBc 抗体(+)

□HBV-DNA 定量(-) → 3ヵ月毎 定量

□HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン _____